

2016年度 取り組んだこと

指針3. 社会的役割を發揮します。

- (1) 内外コミュニケーションを組織全体で進め、ユーコープファンの輪を大きく広げます。
- (2) 利用を通じて組合員の多様な参加が広がる取り組みを推進し、くらし・社会・地域でのネットワークをさらに広げます。
 - ・「秋のつどい」は今年で3年目をむかえました。ユーコープセレクションの試食をしながら交流を行いました。
 - ・組合員から組合員へ広くコープの良さ、コープらしさが伝わるように、「食べ知るコープ」や、産直品の試食会を行いました。

1. コープ商品を試食しながら楽しく交流「秋のつどい」

これまでの「総代懇談会」から組合員なら誰でも参加できる「ユーコープ秋のつどい」に変更し、今年で3回目の開催となりました。11月発売のユーコープセレクションの商品を一足早く試食していただきました。また、上期の事業報告、センター長・店長・エリアコーディネーターの事例報告、商品部職員による商品説明を実施しました。いただいた声を受け止め、事業や商品、活動などの改善に生かしていきます。



静岡・しまだ楽習センターにて

総代ではなく一般で参加させていただきましたが話しやすい雰囲気良かったです。皆さんのお話を聞いてコープの利用について今後の参考になりました。利用歴も一年足らずですが、今後も学ばせていただきたく思います。また、このような機会に参加させていただければうれしいです。

組合員の声

総代	380人
総代以外の組合員	55人
計	435人参加

2. 商品活動

(1) 商品のあれこれをみんなでワイワイ「食べ知るコープ」

コープ商品を真ん中に、見て・ふれて・食べて・学んで交流することでファンを広げる「食べ知るコープ」。各エリアがさまざまな工夫を凝らして取り組みました。参加者の満足度も高く、初めて参加した方も増えています。

2016年度 75会場 参加人数1,300名



やまなし 国中エリアにて



しずおか 西部3エリアにて

初めての参加で、しかも子連れでドキドキしながら来てみましたが、アットホームで子どもにも気をかけてくださって、楽しく参加できました。またお邪魔させていただきました。

組合員の声

(2) 組合員のお気に入りコープ商品をお知らせ「商品おすすめ会」

自分のお気に入りやぜひ紹介したい商品、とっておきのレシピなど、組合員や地域の方に広くお知らせする「商品おすすめ会」。組合員が店舗の売場や地域のコミュニティ、まつりや催しなどで開催しました。

2016年度	481会場	46,563人
(2015年度)	650会場	50,205人



寺尾台店（川崎市多摩区）にて



緑ヶ丘店（掛川市）にて



鷹尾店（厚木市）にて

(3) 多くの組合員の参加で大試食会を7品目で開催

産地や生産者のご協力のもと、ユーコープセクションなどを食べて、その良さやこだわりを知っていただくための大試食会をコープの産地指定商品など7品目で開催しました。「店舗くらぶ」や「ユーコープふれんず」などのメンバーが中心となってアイデアあふれるレシピの提供や試食を行い、多くの方に喜ばれました。エリア会でも大試食会として商品学習会を開催し、参加を幅広くお知らせしました。

2016年度	360会場	22,666人
(2015年度)	152会場	11,320人



しずおか 中部3エリア会
茶美豚大試食会の様子



やまなし ユーコープふれんず「クロワッサン」
宮城県産活〆銀鮭大試食会の様子



かながわ 店舗くらぶ「ラブ河原口」
宮崎県産鰻楽うなぎ大試食会の様子

(4) 大試食会に参加した方の声を組合員が直接産地にお届けしました。

取り組みの報告とともに、アンケートによる組合員の声やアイデアレシピをまとめて、組合員の代表が産地を訪問し、ご協力いただいた生産者へお届けしました。

声を届けた産地 5カ所



2月18日 鹿児島県の茶美豚の生産者にお渡ししている様子



11月8～9日 宮城県の活〆銀鮭の生産者にお渡ししている様子

3. 子育て支援

(1) 子育てひろば

店舗のスペースを有効活用して、未就学児の親子と一緒に参加して自由に過ごせる子育てひろば。親子の交流の場としてさらに広がっています。地域の中で、悩みを共有し一緒に子育てできる場があるとママも気持ち楽になり、自然に笑顔になります。



八千代店（静岡市清水区）にて

(2) おひるねアート撮影会

小さなお子様をもつ組合員を対象に、初めて開催、大好評でした。パパやママ、そのお友達が、今ならではの愛らしいお子様の一瞬をカメラに収めました。会場にはおうちCO-OPと共済のブースも設置し、随時ご紹介しました。

※おひるねアートとは…

赤ちゃんに背景や小物をつけて撮影する、赤ちゃんと一緒に作るアート写真



スタッフも皆さん感じがよく、今後もおうちCO-OPを利用したいと思えるイベントでした。近所で気軽に参加できるというのも、イベント好き子連れとしてはうれしいですね。

組合員の声

4. 職場体験

(1) キッズ店長

地域の子どもたちにユーコープの店舗でお仕事体験をしてもらう「キッズ店長」。組合員が店舗と協力して企画・実施しています。



西鎌倉店（鎌倉市）にてレジ体験をする小学生

(2) おうちCO-OP子ども参観日

おうちCO-OP宅配センターで働く職員・パート職員の子どもたちが父母の職場を訪問し、作業体験を通して父母の仕事に対する理解を深めてもらうとともにおうちCO-OPのファンを育てる取り組みです。



お母さんが一生懸命仕事をしている姿を見て感動しました。僕も大人になったらユーコープで働きたいと思いました。

〈参加した子どもの感想〉

組合員の声

5. 賢い使い方を楽しく「おうちCO-OPのつどい」

おうちCO-OPをもっと賢く、便利に楽しく使ってほしい、ファンを広げる「おうちCO-OPのつどい」を宅配センターとエリア会が協力して開催しました。コープ商品・ユーコープセレクションの試食の他、センター長がポイントの使い方、インターネット注文、「eふれんず」の利用方法などを説明、参加者に理解を深めてもらいました。あわせて意見や要望を直接伺い、コミュニケーションをとる機会となりました。



ベイステージ下田で行われた様子

6. インターネットでユーコープのさまざまな取り組みを発信

2015年度に開設したおうちCO-OP公式Facebookがユーコープ公式Facebookになりました。レシピや組合員参加の取り組み、生産者とのつながり、おうちCO-OPや店舗の情報などを続々と発信しています。また、ユーコープの公式Instagram（※）を11月に開設しました。旬の食材を使って簡単に作れる料理写真を、料理に関連したユーコープの商品や産地の写真と一緒に紹介し、「ユーコープっていいね!」を広げていきます。

※ Instagram（インスタグラム）とは…Web上で写真を中心に交流できるツールで、若年層を中心に利用者が広がっています。



7. 2年目を迎え、店舗との連携を深めた「店舗くらぶ」

「店舗を応援したい、一緒に盛り上げたい」と思う組合員自身が店舗と連携を図りながら自主的に店舗を支える活動をする制度です。2年目を迎えた「店舗くらぶ」は、32店舗で商品おすすめ活動、各種の学習会、誕生祭などに取り組みました。



ミオクチーナ小豆餅店（浜松市中区）店舗くらぶ
「小豆餅もりあげ隊」による商品おすすめ活動の様子

2017年度 取り組むこと

指針3.社会的役割を発揮します。

- (1) 内外コミュニケーションを組織全体で進め、ユーコープファンの輪を大きく広げます。
- (2) 利用を通じて、組合員の多様な参加が広がるよう、商品を中心にして、生産者、お取引先、組合員、そしてユーコープとのつながりづくりを、さらに強めます。

商品を真ん中にした気軽に参加できる取り組みを広げ深めていくことが課題です。また、地域の組合員活動や組合員同士のつながり、産直産地や行政・他団体との連携を通じて、組合員のくらしや地域社会への貢献につながる取り組みを進めることが課題です。

- ・引き続き「商品活動」を最重点とし、「安心してらせる地域社会をめざす活動」との二本柱のテーマで幅広い層の新たな参加と参画を促進します。
- ・商品を通じて、くらしの知恵・くらしのテーマなどが深められるよう、大試食会やおすすめ商品の学習などを進めます。
- ・さまざまな商品活動の場でも出された組合員の声を、産直産地やお取引先に伝え、交流を深めるとともに、商品に関わる部局に伝え、商品の改善や商品の使い方やレシピなど役立つ情報の発信につなげます。
- ・職員が自分のスマートフォンなどからいつでも見られる新しい情報ツール「Web 部内報」を使い、ユーコープの社会貢献の取り組みや商品の価値をよく知り、自信を持って自らの言葉で伝えられるようにします。

※各事業本部の事業計画は58～61ページに掲載しています。

2016年度 取り組んだこと

指針3. 社会的役割を發揮します。

(3) 事業や商品、活動を通じ、環境、地域貢献、社会貢献、被災地支援などの課題を進め、共感の広がりをつくります。

- ・やむを得ない事情でキャンセルになった商品の一部を子ども食堂活動をしている団体へ提供しました。
- ・フードバンク・フードドライブ活動への協力を引き続き行いました。
- ・東日本大震災復興支援や、熊本地震被災地支援、台風10号による集中豪雨災害支援に取り組みました。

1. 子ども食堂へ食品の寄贈活動を開始

おうちC O-O Pでは、組合員のやむを得ない事情で配達直前にキャンセルになった商品の一部を行政や地域のNPO団体へ提供する取り組みを開始しました。これらの食品は「子ども食堂(※)」の開催や、食料に困窮する家庭の支援に役立てられています。

おうちC O-O P横浜瀬谷センター(横浜市瀬谷区)では、瀬谷第四地区社会福祉協議会へ寄贈し、子ども食堂「よんたくん広場」で活用されています。また、おうちC O-O P相模原センター(相模原市中央区)では相模原市小山地域の地域支援を行っている団体「きらくクラブ」へ寄贈し、子ども食堂「きらく子ども食堂」で活用されています。

※子ども食堂とは…経済的な事情で家庭で十分な食事をとれない子どもや、孤食の子どもたちに、無料もしくは安価な食事や居場所を提供する活動



「よんたくん広場」の様子

2. フードドライブ・フードバンク活動へ協力しています

静岡県内の全17店舗では、8月と1月に店内に専用の回収箱を設置し、組合員に「家庭で眠っている食品」の提供を呼びかけるフードドライブ(※)活動を行いました。また、座間食品セットセンターでも取り扱いを終了した余剰商品を毎週定期的に集め、NPO法人「フードバンクふじのくに」から行政や社会福祉協議会・支援団体を通じて、食の支援を求める方に提供されます。

※フードドライブとは…家庭で眠っている食品を集め、フードバンク団体や福祉団体に寄付する活動。

フードバンクとは…規格外れや包装破損などで市場流通できなくなった食品を企業が提供したり、家庭で余った保存食品を個人が寄付するなどし、集まった食品を生活困窮者などに配給する活動。

フードドライブ	8月528.5kg	1月847kg
フードバンク		9,434点



各店舗のサービスカウンター前に設置した専用の回収ボックス

3. 「健康と食生活」学習・活動プログラムの開発に向けた実験を開催

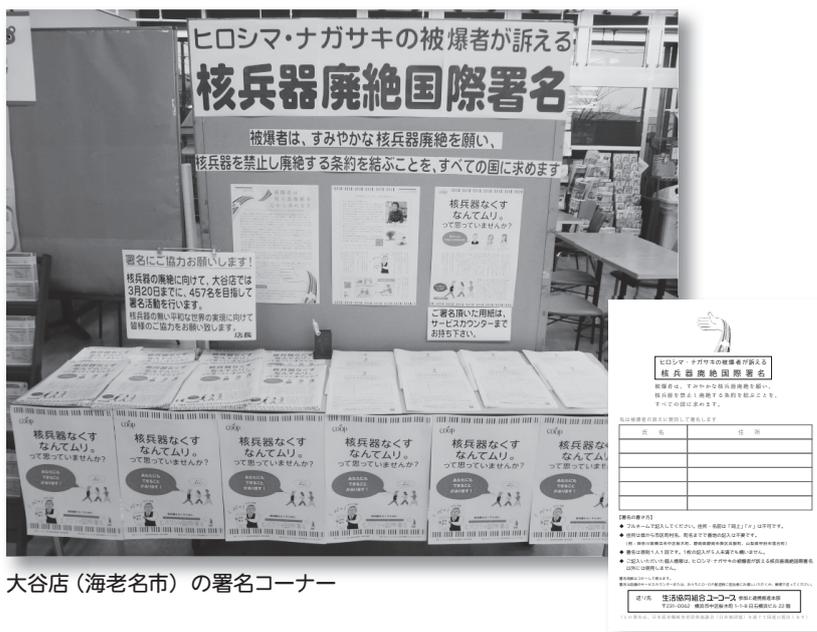
東京大学医学部の研究室と日本生協連が共同で開発したシステムを活用し、「健康と食生活」の学習・活動プログラムの展開を開始しました。このシステムは、社会予防疫学分野の佐々木 敏教授の研究室が構築したアンケート形式で回答すると、自らの食生活や摂取している栄養の偏りなどが解析されるものです。自分や家族の食生活を見直すきっかけづくりとして広げていけるように、各県で実験的に展開しています。

4. 平和への取り組み

(1) 核兵器廃絶を願うヒバクシャ国際署名への取り組み

1日も早く核兵器のない平和な社会になることを願い、「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」に取り組んでいます。平均年齢80歳を超えた被爆者が、生きている間になんとしても核兵器のない世界を実現したいと切望し、実施している署名です。ユーコープも賛同し、核兵器のない世界を求める声を1筆でも多く国連に届けます。この署名は、2020年まで実施し、毎年9月の国連総会へ提出していきます。また、誰でも気軽に署名してもらえるように用紙だけでなく、スマートフォンやパソコンからインターネット署名ができるようになりました。

2017年4月17日現在 104,653筆



大谷店(海老名市)の署名コーナー

(2) 組合員の一人ひとりの思いをヒロシマ・ナガサキへ

被爆から71年。ユーコープではヒロシマ・ナガサキの被爆の実相を一人でも多くの方々に知ってもらい、伝える取り組みを続けています。2016年6月9日の総代会でいただいた3,294羽の折鶴は、3県ごとに千羽鶴にして、8月6日のヒロシマ、8月9日ナガサキの平和祈念式典に持参。組合員の代表や公募の子どもたちが一般参加し、核兵器廃絶の願いとともにそれぞれの慰霊碑に捧げました。ヒロシマ・ナガサキに33人の組合員や子どもたちが参加しました。



ヒロシマ平和祈念式典にて

(3) 平和の大切さを伝える会

「平和の大切さを伝える会」では、静岡県内8つの放課後児童クラブの児童を対象に、戦争・平和を題材とした絵本を紙芝居にして読み聞かせを行いました。読み聞かせは組合員活動委員と事務局職員が担い、読み聞かせの後に子どもたちに簡単な感想文を書いてもらい、最後に子どもたちの感想を読み上げて、子どもたちが絵本を見てどのようなことを感じたかを交流しました。今年は、8会場357人の子どもたちが参加しました。



島田六合児童クラブでの様子

絵本を見て、平和ってどんなことかななどあらためて考えられて、良かったなと思いました。日本が平和な国でわたしはすごく幸せだなと思いました。

組合員の声

5. 被災地支援

(1) 東日本大震災復興支援

◆ふれあいサロンへ組合員と参加しました
仮設住宅の居住者同士が交流する場としてコープふくしまが開催している「ふれあいサロン」に組合員・職員がボランティアとして参加しました。

8回 組合員18名、職員5名参加



北幹線第一応急仮設住宅で行われた「ふれあいサロン」の様子

◆福島県富岡町の「夜の森さくらプロジェクト」に取り組みます

桜のトンネルで有名な福島県富岡町は現在も町の一部が帰宅困難地域となっています。この桜の苗木を各地に植樹する取り組みを「夜の森さくらプロジェクト」として開始しました。ユーコープでもこの取り組みに賛同し、2017年3月16日やまなしのおうちC O - O P甲府センター（甲府市）に植樹しました。今後、神奈川県、静岡県内でも植樹する予定です。



3月16日 植樹式の様子

◆現地をたずねることも被災地支援
組合員の「福島訪問」を実施しました
被災地の「忘れないで、被災地に来てほしい」との要望を受け、現地を訪ね、現状を知ることひとつの支援として、多くの組合員が福島を訪ねました。

6回の訪問、計149名が福島の被災地へ



◆「東日本大震災復興支援募金」は次の段階へ
「被災地を忘れない、必要とされる間は支援を続ける」という思いで「東日本大震災復興支援募金」に継続して取り組んでいます。6年目を迎えた募金は、福島訪問や現地の生協が取り組んでいる被災地支援活動の支援などに役立てられました。

2016年度募金金額	676万7,646円
2011年3月14日～2017年3月20日の累計金額	2億7,804万7,353円

(2) 熊本地震被災地支援に取り組みました

2016年4月に発生し、甚大な被害の出た熊本地震に対しユーコープでは、「熊本地震緊急募金・支援募金」に取り組み、日本生協連を通じて、熊本県、大分県へ全額寄付しました。また、のべ17名の職員を現地へ派遣し、緊急物資の配送やボランティアセンターの運営の手伝い、炊き出し、ボランティアの送迎、仮設住宅への引越しの手伝い、介護職員による入浴支援など、さまざまな支援活動に取り組みました。



全国から届く支援物資の仕分け作業の様子

(3) 台風10号による集中豪雨災害緊急募金に取り組みました

2016年8月に発生した台風10号の被害を受けた北海道、岩手県の皆さんに対する緊急募金に取り組みました。募金は、北海道生協連と岩手県生協連を通じ、北海道、岩手県の被災した方々に送付、役立てられました。

募金金額:	944万6,877円
内、北海道	472万3,439円
岩手県	472万3,438円

目次
指針1
(1)
(2)
(3)
指針2
(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
指針3
(1)
(2)
(3)
(4)
資料編

6. 食べて守ろう、うなぎぼきん

絶滅危惧種であるニホンウナギの「完全養殖」の研究を応援するため、うなぎ蒲焼1品のご利用につき3円を国立研究開発法人「水産研究・教育機構」へ寄付する『食べて守ろう!うなぎぼきん』に取り組みました。また、2016年度は現金やポイントによる募金も広く呼びかけ、合計90万8,434円を寄付することができました。



7. ペットボトルキャップ回収

「ペットボトルキャップを回収してほしい」という組合員の声に応じて、3月21日からユーコープ全店舗で、9月19日からは宅配センターで回収を始めました。回収後はリサイクル資源として売却し、その売却益は「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)」を通じてワクチン接種費用として活用されます。2017年1月20日までの期間で約24.3トン(約1,045万個分)が集まりました。



近隣の寿町子供会の皆さんより新沢田店(沼津市)へペットボトルキャップ12kgが寄贈されました

8. リサイクルセンターの開設 (2017年3月21日全面稼働)

おうちCO-OPを利用する組合員から回収したカタログやポリ袋などの資源物を分別し、圧縮・梱包するリサイクルセンターが2017年3月21日全面稼働しました。分別により資源としての価値を高めると同時に、組合員へ案内をし、資源回収率の向上をめざします。宅配センターから出る段ボール箱やプラスチックの梱包バンドなども処理し、廃棄物排出量の削減にも役立っています。また、リサイクルセンターでは、障がい者の雇用を進め、地域への貢献をめざします。



リサイクルセンター開所式の様子(神奈川県大和市)

9. 神奈川県立保健福祉大学と秋のお弁当を企画開発

神奈川県立保健福祉大学で栄養学を学ぶ学生たちの食育サークル「シーラボ☆」とユーコープの共同プロジェクトで、学生と協力しながら、2014年から栄養バランスの良い総菜メニューづくりを進めています。今回は栄養バランスを考えた秋のお弁当3品を開発し、期間限定で約40店舗にて販売しました。湘南辻堂駅前店(藤沢市)では店頭で先行試食販売会を行い、学生たちが組合員への試食をおすすめしながら、感想を聞き取りました。



ミアクチャー湘南辻堂駅前店での試食おすすめの様子

10. 国際貢献活動

(1) 世界の子どもたちへ みるくぼきん

社会貢献の一環として、CO・OPマークの牛乳のご利用1,000mlあたり1円を日本ユニセフ協会および国連WFP協会の活動に寄付する「みるくぼきん」。6月からの3か月間、おうちCO・OPと店舗で取り組みました。チラシや店頭ポスター、またコープ牛乳1,000mlのパッケージに写真を入れて、ネパールの児童労働の現状をお知らせし、組合員、職員・パート職員向けの学習会で、「みるくぼきん」の意義を確認しました。

2016年度募金額	561万6,507円
累計募金額	4,951万3,193円
(2008年～2016年(9年間)累計金額)	

街頭で募金をするのは勇気がいり、なかなかできませんでしたが、「みるくぼきん」は牛乳を買えば募金になるので気軽に参加できます。

組合員の声

(2) ユニセフネパールスタディツアー

2014年1月から2018年末まで取り組むユニセフの「児童労働と闘うネパール指定募金」の推進に生かすため、ユーコープから2名の代表を派遣しました。現地の子どもの児童労働の状況や、ユニセフの支援(事業)の実情を視察することにより、取り組みへの理解を深め、今後の支援募金推進に活用していきます。

(3) 1県での取り組みを3県に広げました

① 3県の取り組みとしてハンド・イン・ハンドを開催

1972年の国際児童年に始まったユニセフの「ハンド・イン・ハンド募金」も38回目を迎えました。ユーコープの社会的貢献活動の一環として、2015年よりかながわの桜木町駅前、しずおかの青葉イベント広場と109前、やまなしの甲府駅北口で街頭募金に組み、ユニセフ支援活動に多くの方の理解と募金につながりました。ユーコープからは58人の参加で、23万1,987円の募金のご協力をいただきました。

② 現金以外の家庭で眠る資源による募金活動を進めました

NPO法人ハンガー・フリー・ワールドと共同で、家庭にある書き損じハガキ、切手、外貨紙幣など現金以外の資源を集め、換金して寄付する活動に組みました。募金は飢餓のない世界をめざすハンガー・フリー・ワールドの活動の他、ユニセフの「児童労働と闘うネパール指定募金」や被災地復興支援に活用します。

みるくぼきん



みるくぼきん贈呈式の様子



現地の子どもたちとの交流の様子



甲府市北口ペDESTリアンデッキの様子



送られてきた切手の仕分けをするハンガー・フリー・ワールドのボランティアの方々の様子

11. 交通安全教室

おうちCO-O-Pでは、地域の交通安全に貢献し、地域にとってなくてはならない存在となれるよう、要請いただいた幼稚園、保育園、学校などに出向き交通安全教室を行っています。2016年度は、計12カ所※で開催し、参加人数は1,387名に及びました(11月30日現在)。

トラックを使用したプログラムで、運転手から見えない危険な所を子供達が具体的に体験でき、参加者や子供たちの理解が深まっています。

毎年開催している施設職員の声

組合員の声



交通安全教室

※ 相模原市内郷小学校・横浜市青砥どんぐり保育園・横浜市原幼稚園・南アルプス市大明保育所・甲府市湯田小学校・藤枝センター交通安全教室・浜松市たちばな授産所・南アルプス市ポッポの家・御殿場市玉穂幼稚園・浜松市くすのき保育園・南足柄市華陵学園・浜松市和光こども園

指導の参加は、安全運転を見つめ直す、とても良い機会になりました。コープの安全運転への取り組みを知ってもらえる機会がさらに増えることでコープへの信頼がより高まることを感じました。

おうちCO-O-P浜松北センター(浜松市北区)
供給職員 坪井 宏太

2017年度 取り組むこと

指針 3.社会的役割を發揮します。

(3) 事業や活動が相互に連携し、環境、地域貢献、社会貢献、被災地支援などの課題を進め、行政や他団体とともに、暮らし・地域・社会を包括できるネットワークづくりを目指します。

ユウコープだけでなく、行政や他団体と力を合わせ、暮らし・地域・社会を包括できるようなネットワークづくりをめざすことが課題です。

- ・フードバンク・フードドライブ、みるくぼきんなど、社会的課題に対して、事業と組合員活動が連携して取り組み、社会貢献に結びつけます。
- ・環境保全を意識した持続可能な地域・社会づくりへの貢献として、組合員の暮らしの中で気軽に取り組める身近な課題から理解を深め、考える機会を広げます。
- ・「ヒバクシャ国際署名」やピースリレーなど、核兵器廃絶に向けた具体的な取り組みを継続し、わかりやすく伝えていくことで平和について考える機会を増やします。
- ・事業と活動の連携を含め、ボランティア活動の広がりにつなげます。
- ・組合員から回収した資源を分別し、異物除去、圧縮して資源の価値を高める施設「おうちCO-O-Pリサイクルセンター」ができたことを組合員に案内し、リサイクルを推進します。

※各事業本部の事業計画は 58～61 ページに掲載しています。

2016年度 取り組んだこと 指針3. 社会的役割を發揮します。

(4) 暮らしの「安全・安心」への組合員の期待に応えるための取組み、情報発信を進めます。

- ・自宅に定期的に訪問する事業特性を生かし、おうちCO-OPやコープの夕食宅配マイシィでは、お届けの際に組合員の異変に気がついた場合、公的機関に連絡することで行政による地域の見守りの取組みに協力しています。
- ・組合員の親子を対象に商品検査センターでの手洗いや顕微鏡での観察などの体験を通し、ユーコープの取組みを知っていただく機会となりました。

1. 地域見守り活動

ご自宅に定期的に商品をお届けする特性を生かし、おうちCO-OPと夕食宅配マイシィでは、公的機関の「地域の見守り」の取組みに協力しています。配達担当がお届けの際に異変に気付いた場合、公的機関の連絡窓口へ通報しています。また、あらかじめ緊急連絡先を登録されている場合は、緊急連絡先にも連絡しています。

11月には神奈川県より「地域見守り活動」による人命救助活動に感謝状をいただきました。

担当者からの通報が、異変の発見や救命につながった件数

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
6件	5件	12件	16件	21件

地域見守り活動が定着し、配達担当者、マイシィスタッフの組合員の異変に対する意識が高まりました。行政に連絡したあと、組合員の安否を知ることで配達担当者も安心でき、とても良い取組みです。

おうちCO-OP川崎新城センター（川崎市中原区）
オペレーションマネジャー 網島 健之



黒岩神奈川県知事から感謝状を受け取った
おうちCO-OP横浜北部センター（横浜市緑区）
センター長 平瀬 剛

【事例】おうちCO-OP横浜新山下センター

配達に伺った際に顔色が良くなかったので、「大丈夫ですか」と声掛けをすると「大丈夫」と仰られたので、一度は家を離れましたが、気にかかり戻ってみると、座り込んでしまっていたので、救急車を呼びました。

【事例】おうちCO-OP富士センター

いつも在宅の組合員のお宅に伺うと「助けて」と言う声に気づき、救急車を呼びました。1週間動けなく、飲まず食わずだったそうです。

2. 実感・体感 コープ食の安全探検隊！

2016年7月26日に神奈川県厚木市にあるユーコープ商品検査センターで開催し、組合員と家族21人（大人10人、子ども11人）が参加しました。全員で手洗い後の洗い残し検査や残留放射能検査などを体験した他、食品の異変に気付くために必要な臭いの感度チェックなどを行い、ユーコープの品質管理の取組みを知り、食の安全に対する興味を深めました。



においの体験。5種類の臭いをかいで何の臭いか考えます。

勉強になりました。毎日口にする食品にこれだけの検査をしているのかと驚きました。

組合員の声

3. がんセミナー開催

(株) コープライフサービスでは、がんに対する知識を深めていただくとともに「早期発見・早期治療」の大切さ、万一、がんになっても立ち向かっていけることを理解いただけるよう、がんセミナーを開催しています。2016年は、(株) 病診経営代表取締役の村上賢二さん、テレビ、ラジオの司会やクイズ番組などでおなじみの麻木久仁子さんを講師に招き、183名の組合員の皆さんにご来場いただきました。



株病診経営 村上 賢二さん



タレント 麻木 久仁子さん

4. 災害時帰宅支援ステーション

九都県市首脳会議(※1) が推進する「災害時帰宅支援ステーション(※2)」の取り組みに賛同し、「災害時帰宅困難者支援に関する協定書」を締結しました。

※1 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・横浜市・川崎市・相模原市・さいたま市・千葉市

※2 地震などの大規模災害の発生時に、公共交通機関が運行停止となって生じた帰宅困難者が徒歩で自宅に帰るのを支援する拠点。帰宅困難者に水道水、トイレ、災害情報、一時休憩場所を提供する役割を担います。



「災害時帰宅支援ステーション」に賛同しているお店には、このステッカーが提示されています

5. 「家庭の食事からの放射性物質摂取量調査」実施

ユーコープでは2011年度より、日本生協連と共同で「家庭の食事からの放射性物質摂取量調査」に取り組んできました。これは、「実際の食事からどのくらい放射性物質を摂取しているのか分からない」という組合員の声に応え、実際の食事をご提供いただき、放射性物質を検査する取り組みです。2016年度は全国19都県253世帯にご協力いただき、3年連続で全県不検出でした。ユーコープからは3県で15組の組合員にご協力いただきました。

2017年度 取り組むこと

指針 3. 社会的役割を發揮します。

(4) 暮らしの安全・安心、暮らしの知恵、実践事例など、様々な情報をわかりやすく、見やすくする改善を進め、同時にコミュニケーションにおいて様々なチャレンジをしていきます。

組合員の期待に応えるために、単なる情報発信のみだけでなく、安全・安心・暮らしの知恵・実践事例などのさまざまな情報を伝え・伝えるよう改善を進めていくことが課題です。同時にITなどの活用も含め、コミュニケーションのあり方・方法についてもチャレンジしていきます。

- ・店舗や工場、お取引先の品質管理の向上と、商品検査を継続し、安心してご利用いただけるようにします。
- ・商品政策や安全・安心の取り組みをわかりやすく伝え、組合員の共感につなげます。
- ・食生活に関する個人の状況や健康に関するアドバイスを組合員個別に情報提供するなど、インターネットの活用などさまざまな手法にチャレンジします。
- ・暮らしに役立つ情報を一人ひとりの暮らしに合った方法で得られるよう、ホームページや機関誌 mio などの既存の媒体と連携して、Facebook、Instagram などの SNS(ソーシャルネットワークシステム) の活用を進めます。

※各事業本部の事業計画は 58～61 ページに掲載しています。

1. 食育講演会を開催しました

「熊八さんと考える “たべる、たいせつ”」を開催し、約200人が参加しました。第一部では“NHKひとりのできるもん”等で知られている森野熊八さんから、「もったいないが食育の基本」をテーマに正しい知識を持つことの大切さについて講演してもらいました。農林水産省 関東農政局の鶴岡佳則さんからは、「未来へつなごう!子どもの食育」をテーマにお話いただきました。第二部は、ユーコープのメンバーも加えてパネルディスカッションを行いました。



- ・とても為になりました。あらためて食に対しての責任を感じました。
- ・子どもに食育について話しても理解してもらえない中、実際に子どもに体験させるという話はとても勉強になりました。

組合員の声

2. 新しい平和の取り組みにチャレンジ

子どもたちへの平和を考えるきっかけづくりを目的にオリジナル脚本を作成し、中学生を主人公にした演劇「Join hands」を県内ホールで開催しました。ユーコープ初の取り組みで、神奈川県原爆被災者の会・神奈川県ユニセフ協会にもご協力いただき、「平和とは何か?」を次世代に考えてもらう機会になり、来場者からは大好評でした。また5月に行われたピースリレーでも、開会式の中でフラッシュ

モブ(※)を行うなど、新しい形の平和の取り組みが行われています。

※ フラッシュモブとは…
不特定多数の人々が申し合わせ公共の場に集まり、前触れなくダンスや演奏などを行うこと。

- ・若い人たちがたくさん参加されていて、とてもうれしく頼もしく思いました。
- ・こうでなくては本当に平和を実現させることはできないと思われます。

組合員の声



3. 新たな参加が広がりました

エリア会では、さまざまな企画で新たな参加を広げてきました。川崎2エリア会では子育て層を対象におうちCO-OPのつどいを開催し、子育て向けカタログ『Dear mom』や離乳食レシピを紹介しました。その他にも親子で参加するリトミックや、キッズ店長など各エリア会でも親子で参加する企画が多数開催されました。保育付きなどさまざまな工夫によりユーコープの企画に参加した組合員は5,069名で内、初参加者は692名と参加が広がりました。



親子で参加できるイベントは少ないので子育て中の良い息抜きになります。

組合員の声

4. 行政・他団体との新たなネットワークづくり

各地域でさまざまなネットワークづくりが進められています。西湘2エリアでは行政・東海大学の学生とコラボし、夏休み親子企画として「今年の夏休みはレッツチャレンジ」を開催。県央1エリア会では相模原市の初の試みで行政と事業者との共同企画「教えちゃいます♪上手な買い物の仕方&使い切りレシピ」を開催。湘南2エリアでは鎌倉市の団体とつながり「津波が来るまえに高いところへ逃げるプロジェクト」に参加しました。



地域の方や他団体と触れ合う機会が無かったのでこのような機会があって良かった。(参加大学生)

組合員の声

5. 「被災地をわすれない」復興支援活動

被災地を忘れないの思いを込め、福島訪問を企画。組合員がバスで現地を視察しました。福島ふれあいサロンボランティアの企画では、組合員ボランティア1名と講師が福島へ赴き、リボンレイ作り講習を行いました。また、各エリア会から被災地へ地元銘菓や、カードを送りました。福島の子どもたちを招き、のびのびと体を動かしてもらう「福島子ども保養プロジェクト」にも引き続き取り組んでいます。



6. 家庭の不要なカレンダーで国際貢献できる「カレンダー募金」

カレンダー募金は、ご家庭で余ったカレンダーや手帳を集め、ユーコープの店頭で募金として買ってもらうユニセフ募金活動の1つです。年末年始にユーコープふれんずやエリア会が開催しています。組合員の認知も広がり開始前に行列のできる会場もありました。楽しみにされている組合員も年々増えています。2016年度は53会場で開催されました。

とても良い活動ですね。来年は我が家の余ったカレンダーをもってきますね。

組合員の声

7. 身近な自然環境のことを考える「きっかけづくり」 ヤマのがっこう みどりのがっこう

「ヤマのがっこうin秦野」を表丹沢菩提里山づくりの会にご協力いただき9回開講しました。親子を中心とした参加者は里山の保全再生活動の大切さ、農業の楽しさを実感しました。「みどりのがっこう」は、公益財団法人かながわトラストみどり財団とユーコープが協力して、神奈川の環境保全を目的に開催しています。小網代の森・鶴見川・野毛山動物園にて神奈川の自然を体験してもらい環境を考えるきっかけづくりになりました。



8. 住みよい地域づくりに大切な活動 ちょっとしたボランティア「ちょボラ」

高齢者支援、子育て支援、ケガや病気でお困りの時等、「ちょボラ」でできることをお手伝いしています。高齢化社会、核家族化、介護保険制度の改正など社会状況の変化の中、ますます住みよい地域づくりに必要とされるくらしのすけあい活動です。県内で334名の組合員がボランティア登録しています。

気軽に頼めてとてもうれしいです。

組合員の声

9. 組合員のくらしの見直しに役立つ情報の提供を

LPA（※）かながわの講師がミアクチャー湘南辻堂駅前店（藤沢市）と湘南台店（藤沢市）の2カ所で「3回連続FP（※）入門講座」を開催しました。また、「くらし見直し講演会」として、お笑い系ファイナンシャル・プランナーいちのせ かつみ氏を講師に「爆笑!おもしろく生きよう!人生100年を豊かにする生活設計」と、「下流老人」という言葉の生みの親でマスコミ等でもおなじみの藤田 孝典氏を講師に「下流老人にならないために～崩れた1億総中流」を開催しました。

※LPAとは…C・O・P共済連の所定のライフプランアドバイザー養成セミナーを終了した人のことです。組合員にライフプランのアドバイスをしたり、くらしのお金全般についての学習会を行ったり、講師として活動しています。

※FPとは…ファイナンシャルプランナーの略。家計に関わる金融、不動産、保険、年金制度など、幅広い知識をもち、相談者をサポートする専門家。

1. コープで体験・学ぶ会 「グリーン・プログラム オレ達のえだ豆」収穫体験

「グリーン・プログラム オレ達のえだ豆」は、藤枝市の信念を持った若き3兄弟の生産者が作るぶっくりとして濃厚な味と香りが広がるえだ豆です。

この生産者の協力を得て当日は、枝豆の収穫、機械を使って実を摘み取る「脱きょう」作業、目視で実入りのチェックする作業、洗浄作業といった一連の工程を体験しました。

農家の皆さんがプライドを持って取り組んでいる姿に感動しました。これからも、おいしい枝豆をつくってください。

組合員の声

8組19人の参加



「大きな豆が入っているかな？」
実入りのチェックです

2. おうちCO-OP伊豆センター 夏まつり

東部1エリアとおうちCO-OP伊豆センター（伊豆市）と共同して「おうちCO-OP大試食会」を開催しました。100名以上の地域の方で賑わい、多くの商品を試食していただきました。

おうちCO-OPの業務用商品を集めたカタログ「DOSA-TTO（ドサット）」の商品も試食しました。今度、注文してみたいと思います。

組合員の声



「コーすけ」と一緒にダンスをしようよ♪

3. 子育てひろば

子育てひろばは、県内6店舗で毎月開催しています。未就園児のお子さんとお母さんがコミュニティルームに集まり、コープの商品をおやつにして、おしゃべりやおもちゃ遊び、子育てスタッフによる絵本の読み聞かせや手遊びなど楽しんでいます。

公共サービスにはない、ほのぼの感がよかったです。

組合員の声



子育てひろばスタッフの絵本の読み聞かせの様子

4. 選べる! FP入門講座

「FP(※)入門講座」は、今まで連続講座で開催していましたが、今年度からは各回で参加者を募集し、参加しやすくなりました。「生命保険」「社会保障」「投資」「将来設計」「税金」をテーマに県内3会場で開催し、のべ166名の方が参加されました。

今まで漠然と考えていたライフプランでしたが、生活に見合っているのか確認することが大切だと思いました。

組合員の声

※FPとは…ファイナンシャル・プランナーの略。家計に関わる金融、不動産、保険、年金制度など幅広い知識をもち、相談者をサポートする専門家。



「お金と投資の基礎」をテーマにした講習

5. 虹のまつり

虹のまつりは、地域の組合員で結成した実行委員会が取り組むコープのお祭りです。店舗くらぶやユーコープふれんず、地域の皆さんとの交流の場として、賑やかに開催しています。

お店の人とじゃんけんをして、おかしをたくさんもらったよ。うれしかったよ。

組合員の声



店長と「じゃんけんポン！」

6. 健康と食生活の取り組み

聴講を希望された方全員に、最近1カ月間の食事のとり方に関する食習慣調査票の記入を事前にお願ひしました。調査票をご提出いただいた約200名の結果を踏まえて「家族の笑顔は食卓から」を演題に、「コープのかんたんレシピ」でも人気の家庭料理研究家 奥菌壽子さんの講演会を開催しました。不足しがちな栄養分のとり方や減塩を意識しながら簡単にできるレシピの紹介では、多くの方がメモをとっていました。

難しそうな減塩対策も簡単にできると思いました。

組合員の声



奥菌壽子さんから、今晚からできるレシピをたくさん聴きました

7. 行政との連携したエリア企画

中部2エリアでは、藤枝市役所危機管理課より講師を招き、防災学習会を開催しました。包丁とまな板を使わない、ジップ付きの保存袋を使った調理を行いました。

熊本地震の詳しい状況を聞いて、東海地震が怖くなりました。わが家の防災グッズを見直します。

組合員の声



ジップ付きの保存袋があれば、絶品トマトパスタも作れます

8. 被災地生協へ地元の銘菓などを贈る取り組み

県内各地から被災地生協へ、寄せ書きした色紙や地場産品などを贈っています。西部1エリア企画で作ったプリザーブドフラワーを福島県の皆さんへ贈ったところ、たいへん喜ばれ、フラワーアレンジの講師が現地へ行き、教室が開かれました。

毎月、いろいろな品をお贈りいただき、本当にありがとうございます。

贈り先の各生協担当者より

組合員の声



応急仮設住宅の「ふれあいサロン」で、しずおかの組合員ボランティアとリースづくり

9. 静岡県難病団体連絡協議会へ署名や募金の協力

「NPO法人 静岡県難病団体連絡協議会」の呼びかけに賛同し、「難病・長期慢性疾患・小児慢性特定疾病対策の総合的な推進を求める請願書」署名や募金を通じて、県内の福祉活動に貢献しています。

220筆 358,073円の募金



目録を渡す、岡田組合員理事（写真左）

1. エリア会の事業所と連携した取り組み

郡内エリアでは「おうちCO-OPフェスタ」、国中エリアでは「食べ知るコープin若草」をそれぞれ開催。郡内では商品の試食紹介や都留文科大学の学生による子ども向け演奏会などとあわせてeふれんずやおうちCO-OP活用術をお知らせしました。国中では若草センター内での大試食会や見学、アウトレット品の販売やとれたて県内野菜の販売などを実施。両エリアともやまなしでは初となる事業所と連携した取り組みを進めました。



国中エリア



郡内エリア

両エリア企画計参加者148人 内、活動への初参加25人

初めてこうしたイベントに参加し、新発売の商品を数多く試食できました。ユーコープセレクションはとてもおいしくびっくり!今後お買物めもで利用してみたいと思いました。

組合員の声

2. 国内・郡内エリア合同企画「復興支援ローリングストック講演会」

「東日本大震災から5年、被災者支援を通してできた地域とのつながり」をテーマに、震災の経験を生かして備える知恵「ローリングストック」についてみやぎ生協の方に講演いただきました。やまなしの両エリアの会場でそれぞれ開催。ユーコープで取り扱いのある防災商品の紹介とあわせて、展示コーナーでは熊本県益城町の実際に避難者が困ったものなどの紹介や、簡易トイレの展示なども行いました。



防災に対する思いが薄れている今日この頃でした。本日の講演の内容を参考に9月の防災の日に向けて、家族でのローリングストックに取り組みたいと思います。

組合員の声

両エリア企画計参加者46人

3. コープで体験・学ぶ会(山梨県産ワインづくり)

組合員が商品に愛着をもっていただけるよう、ワインの熟成状況の確認と試飲や、原料のぶどうの収穫体験を行いました。活動への初参加者の割合も非常に多く、商品の開発に組合員に関わっていただく機会となりました。

休みを利用して組合員として参加しました。ワインの基礎から裏話まで聞けて、大変有意義な時間でした。ワインができる工程もよくわかり、普段は生産者や組合員と接する機会は、なかなかないので楽しく良かったです。

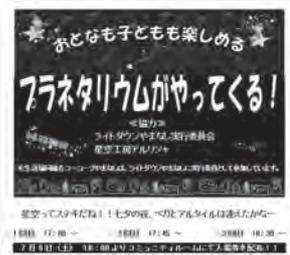
おうちCO-OP甲府センター(甲府市) 供給担当 飯島秀基



2企画合計参加者39人 内、活動への初参加22人

4. ちづか店と連携した新しい参加を広げるイベント

組合員活動委員・店舗くらぶ・組合員理事・職員が一緒にちづか店での誕生祭イベントを計画。店頭模擬店、抽選会などを店内セールとあわせて実施。またコミュニテイルームを使ったプラネタリウムは多くの親子の参加となり好評でした。



プラネタリウム参加者70人 内、活動への初参加者50人

5. 総代対象のイベント企画の開催

年末美味予約の商品を中心とした大試食会を総代向けに計画し、当日は体験企画やお楽しみ抽選会なども合わせたクリスマスパーティとして実施しました。総代になっていただいた方への感謝と、総代同士の交流の機会となりました。

参加総代37人

今年から総代になりました。この企画は今回初の催しだと聞いて、ラッキーだと思いました。主婦はなかなかパーティに参加することがないので、「パーティ」って聞いただけでウキウキしてしまいました。

組合員の声



6. 山梨県生協連の講演学習会「電力自由化と私たちの暮らし」

組合員の関心の高いテーマであった電力自由化について、講師を招いての講演会を山梨県生協連の主催で開催し、ユーコープの組合員にも呼びかけ31人が参加しました。

全体参加者84人
内、ユーコープ組合員31人

電力自由化になり消費者にとって選択できるようになったが、きちんと知識を持つことの大切さがよくわかりました。節電行動を促すことや原発についてもしっかりと今後も考え、取り組んでいきたい。

組合員の声



7. 男女共同参画推進センターぴゅあ総合フェスタへの参加

総代の声から、山梨県内の多くの団体が出展する地域イベントへ今年度初出展しました。来場者へのコープ商品の紹介や体験ブースでのタロット占いやエコクラフトを組合員の協力で行いました。

ユーコープブースの来場者数125人



8. 山梨県内学校関係食育活動

山梨県内の小学校放課後児童クラブなど5カ所で食育学習を行いました。また小学校の家庭科の授業では豆乳から作った豆腐作りをエリアコーディネーターが実演しました。

2016年度実績5カ所178人
(2015年度実績3カ所92人)



9. 山梨県生協大会「もしもに備える食」～災害時でもいつもの食事を～

災害時の備えと食事作りについて、数々の書籍の著者である今泉マユ子さんを招いての講演会を山梨県生協連の主催で開催し、ユーコープの組合員にも参加を呼びかけました。

全体参加者88人 内、ユーコープ組合員31人



2016年度 数値でみる 私たちの取り組んだこと (2016年3月21日～2017年3月20日)

～ひろげよう! 暮らし・社会・地域のネットワーク～

■商品・食育活動 (食べものの安全・安心)

企画 N O	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数
1	商品大試食会	360	22,666	295	20,182	39	1,831	26	653
2	大試食会産地訪問&メッセージ	5	9	※宮城県活の銀鮭・鹿児島大隅産うなぎ・佐賀県はぐくみ鶏は、産地でお渡し、 茶美豚・鹿児島県産プリは、鹿児島フェアにあられた際にお渡ししました。					
3	今月のラブコープ商品トーク学習会	10	43	—	27	—	8	—	8
4	食べ知るコープ	75	1,300	37	547	34	613	4	140
5	おうちCO-OPのつどい	56	1,723	10	95	45	1,560	1	68
6	声を生かすアンケート	年間	10,897	—	6,536	—	3,562	—	784
7	コープで体験・学ぶ会	13	325	1	13	10	273	2	39
8	コープの田んぼをつくろう&茶美豚飼料用米稲刈り	4	45	—	26	—	17	—	2
9	工場見学会	29	774	20	580	6	101	3	93
10	メーカー講習会	48	871	26	482	12	222	10	167
11	実感・体感 コープの食の安全探検隊	7月26日	21	—	9	—	12	—	0
12	商品おすすめ会	481	46,563	458	43,546	23	3,017	—	0

■福祉・子育て支援活動

企画 N O	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数
13	キッズ店長	26	462	17	274	6	182	3	6
14	保育活動企画数&保育を受けた人数	382	1,273	208	653	142	555	32	65

■環境活動

企画 N O	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数
15	放射性物質摂取量調査	12月	15	—	5	—	5	—	5
16	捨てないレジビ募集	5/30~6/26	7	—	—	—	—	—	—
17	グリーンカーテンコンテスト	7/21~9/20	25	—	14	—	8	—	3

■平和活動・ユニセフ支援活動

企画 N O	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数
18	ピースリレー・平和行進	5/7~5/31 7/13~7/21	356	5/7~5/19	317	5/19~5/31	11	7/13~7/21	28
19	ヒロシマ・ナガサキ平和スタディツアー、 ヒロシマ・ナガサキ平和の旅 (8/4~8/7・8/7~8/9)	8/4~8/7 8/7~8/9	24	8/4~8/7 8/7~8/9	13	8/4~8/7	9	8/5~8/6	2
20	3・1ピキニデー	3月1日	24	—	4	—	18	—	2
21	ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名	3月20日現在	81,432	—	45,520	—	28,761	—	4,651
22	平和学習会・報告会、平和のつどい	42	3,169	26	2,465	10	578	6	126

■くらしの力活動

企画 N O	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数
23	家計簿モニター登録数	年間	675	—	584	—	82	—	9
24	家計簿提出者 (のべ人数)	12	6,416	—	5,720	—	612	—	84
25	くらしの見直し川柳募集	8/22~10/20	183	—	112	—	66	—	5

■学びあい・つたえあい活動

企画NO	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数	登録数 参加人数	開催数	登録数 参加人数	開催数	登録数 参加人数	開催数	登録数 参加人数
26	講師登録数	—	139	—	52	—	74	—	13
27	講座開催数&参加人数	173	2,262	95	1,515	55	555	23	192

■募金活動

企画NO	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		期間	募金金額	期間	募金金額	期間	募金金額	期間	募金金額
28	ハンド・イン・ハンド募金	12/17~18	231,987	12月18日	156,404	12月17日	54,300	12月17日	21,283
29	平和の募金	6月~8月	2,531,180	—	1,550,258	—	747,158	—	233,764
30	東日本大震災復興支援募金	年間	6,767,646	—	—	—	—	—	—
31	ユニセフ 「児童労働と闘う ネパール指定募金」	年間	8,370,076	—	—	—	—	—	—
32	ユニセフ一般募金	年間	7,248,790	—	—	—	—	—	—
33	みるくぼきん	6月~8月	5,616,507	—	—	—	—	—	—
34	うなぎぼきん	7月	908,434	—	—	—	—	—	—
35	コープ洗剤募金	4月~10月	282,652	—	—	—	—	—	—
36	石巻グリーングローブの会への募金	年間	50,000	—	—	—	—	—	—
37	熊本地震緊急募金・熊本地震支援募金	4月~8月	48,834,152	—	—	—	—	—	—
38	台風10号による集中豪雨災害緊急募金	9月~10月	9,446,877	—	—	—	—	—	—

■復興支援活動（被災地・県内）

企画NO	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数
39	福島訪問	6	149	3	89	2	49	1	11
40	福島ふれあいサロン企画参加	8	167	※福島市のふれあいサロン2カ所、郡山市のふれあいサロン2カ所に参加しました。					
41	ふれあいサロン参加ボランティア登録&参加数	40	18	20	8	16	8	4	2
42	「ふれあいサロン（喫茶）」への銘菓などの送付（岩手・宮城・福島・熊本）	21	139	7	68	12	65	2	6
43	被災地応援カード（岩手・福島・熊本） （クリスマス・ひなまつり）	3	1,122	2	474	2	407	2	140

■つながる活動・ネットワーク

企画NO	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数 (グループ数)	参加人数	開催数 (グループ数)	参加人数	開催数 (グループ数)	参加人数	開催数 (グループ数)	参加人数
44	ユーコープふれんず(登録数・登録人数)	876	7,159	569	4,988	270	1,929	37	242
45	店舗くらぶ（登録数・登録人数）	36	420	30	382	5	35	1	3
46	エリア会スタートの会	32	1,325	29	1,254	1	35	2	36
47	行政諸団体連携企画	66	193,125	22	191,134	21	530	23	1,461

■広報でつながる活動

企画NO	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		平均発行数 発行回数	累計発行数 案内企画数	平均発行数 発行回数	累計発行数 案内企画数	平均発行数 発行回数	累計発行数 案内企画数	平均発行数 発行回数	累計発行数 案内企画数
48	mio発行部数・びらすmio発行枚数 (月平均/累計)	539,774	6,477,290	310,879	3,730,550	196,495	2,357,940	29,346	352,150
49	びらすmio掲載企画数 (発行回数/案内企画回数)	42	765	12	495	12	132	18	138

2016年度 数値でみる 私たちの取り組んだこと (2016年3月21日~2017年3月20日)
 ~かながわ県本部で取り組んだこと~

■商品・食育活動（食の安全・安心）

企画NO	企画名	開催数	参加人数
1	食育学習会	19	681
2	商品学習会	33	1,567
3	おしゃべりの種セット学習会	19	1,055
4	ヤマのがっこう（秦野）	9	369
5	ヤマのがっこう（小田原）	1	32
6	伊勢原米作って食べちゃう会	4	266
7	ユーコープ職員による学習会	2	62
8	産直市	3	57

■子育て支援活動（応援）

企画NO	企画名	開催数	参加人数
9	子育てひろば	59	669
10	子育て支援企画	17	374

■福祉活動（くらしたすけあい活動）

企画NO	企画名	開催数 (時間)	参加人数
11	ちょボラ活動エリア数ボランティアコーディネーター	—	45
12	ボランティア登録数	—	334
13	ちょボラ活動延べ時間・人数	11,823.5	8,233
14	ちょボラサポーターズ	—	1,568
15	福祉活動企画・学習会	2	120

■環境活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
16	みどりのがっこう	3	48
17	田んぼの生きもの調査	1	54
18	環境展・環境学習	6	223

■平和活動

企画NO	企画名	開催日 (期間)	参加人数
19	平和のつどい	1月14日	232
20	原爆と人間展	8/26~8/29	13,000

■くらしの力活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
21	くらし見直し講演会	2	166
22	LPA活動メンバー	—	7
23	LPA企画活動	6	103
24	おこづかいゲーム	1	11

■学びあい・つたえあい活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
25	学びあい・つたえあい講座	95	1,515
26	テーマ講師による講座	21	376

■募金活動

企画NO	企画名	期間	募金額(円)
27	カレンダー募金	12~1月	817,165

■復興支援活動（被災地・県内）

企画NO	企画名	開催数 (期間)	参加人数
28	福島の子ども保養プロジェクト	3/27~3/29	26
29	被災地支援活動	6	1,021
30	防災・減災活動学習会	6	155

■つながる活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
31	コープケーション	5	404

■広報活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
32	mi o i れんど（個人）	—	12

2016年度 数値でみる 私たちの取り組んだこと (2016年3月21日～2017年3月20日)
～しずおか県本部で取り組んだこと～

■商品・食育活動（食の安全・安心）

企画NO	企画名	開催数	参加人数
1	おしゃべりひろば	162	1,117
2	ユーコープ職員による学習会	2	32
3	産直市	1	21

■子育て支援活動（応援）

企画NO	企画名	開催数	参加人数
4	子育てひろば	70	1,319

■平和活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
5	9・23焼津行動	1	2
6	平和のつどい	2	221
7	平和の大切さを伝える会	8	357

■くらしの力活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
8	FP入門講座・FP3級講座	21	248
9	くらし見直し講演会	2	44

■募金活動

企画NO	企画名	期間	募金金額
10	ハンガー・フリー・ワールド（飢餓救済）	3月下旬～5/31	1,901,095
11	難病支援募金	2/21～3/20	358,073
12	赤い羽根共同募金	12/1～12/31	93,114

■復興支援活動（被災地・県内）

企画NO	企画名	実施	募金金額 参加人数
13	ハンガー・フリー・ワールド（復興支援）	3月下旬～5/31	1,901,095
14	防災減災活動	3	43

■つながる活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
15	まつり、諸団体連携	4	2,900
16	エリア企画	177	3,309

■広報活動

企画NO	企画名	発行回数	発行部数
17	こーいふぁん。	29	6,766

2016年度 数値でみる 私たちの取り組んだこと (2016年3月21日～2017年3月20日)
～やまなし県本部で取り組んだこと～

■商品・食育活動（食の安全・安心）

企画NO	企画名	開催数	参加人数
1	学校関係から依頼の食育学習	5	178

■環境活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
2	楡形山森づくり活動	4	34
3	森づくりサポーター数	—	11
4	環境展（行政や諸団体との連携）	2	1,380

■福祉活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
5	買い物支援サポーターおつかいありさん活動数とのべ活動参加人数	46	108
6	買い物支援サポーターおつかいありさん利用者数	46	214

■復興支援活動（被災地・県内）

企画NO	企画名	実施	参加人数
7	福島県富岡町「夜の森さくらプロジェクト」	3月16日	21
8	防災減災活動	2	46

■広報活動・平和活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
9	ユーコープふれんず通信（発行回数・部数）	4	220
10	原爆と人間展	1	2,257

■つながる活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
11	ユーコープふれんずオープン企画	68	532
12	ユーコープふれんず交流会	3	44
13	コミュニケーション推進サポーター（レポート数）	—	6
14	エリア企画	18	478
15	エリアスタートの会	2	36